



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場会社名 バルテス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4442 URL <https://www.valtes.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 真史
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 本部長 (氏名) 富士谷 典彦 TEL 03 (5210) 2080
 定時株主総会開催予定日 2021年6月22日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月22日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	5,262	7.9	344	7.2	347	7.6	246	10.0
2020年3月期	4,875	48.7	321	70.6	323	72.6	224	51.5

(注) 包括利益 2021年3月期 244百万円 (9.5%) 2020年3月期 223百万円 (52.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	35.65	35.35	18.0	15.0	6.6
2020年3月期	33.25	32.98	27.0	19.8	6.6

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 -百万円 2020年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	2,541	1,498	58.8	215.95
2020年3月期	2,089	1,246	59.6	180.26

(参考) 自己資本 2021年3月期 1,494百万円 2020年3月期 1,246百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	291	△93	△4	1,170
2020年3月期	246	△81	538	976

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	2,943	21.9	108	△20.1	109	△20.5	70	△18.6	10.25
通期	6,451	22.5	464	34.8	468	34.9	305	23.6	44.08

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 (社名) 株式会社アール・エス・アール
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	7,150,000株	2020年3月期	7,150,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期	229,310株	2020年3月期	234,200株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	6,918,582株	2020年3月期	6,740,538株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	4,805	8.3	281	19.1	320	25.3	229	29.1
2020年3月期	4,435	50.1	236	68.3	256	69.5	178	64.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	33.24	32.96
2020年3月期	26.42	26.21

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	2,233	1,400	62.5	201.69
2020年3月期	1,918	1,162	60.6	168.13

(参考) 自己資本 2021年3月期 1,395百万円 2020年3月期 1,162百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料及び説明動画を当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた経済活動自粛などの影響により景気が不透明な状況にありますが、一部には弱いながらも企業の景況感が戻りつつあります。当社グループにおきましても新型コロナウイルス感染症拡大防止を最優先に考え、可能な限りの在宅勤務の推奨や、感染予防のための衛生用品や検査器具の配布、またオンライン懇親会補助等従業員のストレス解消を促進する施策を行っております。

当社グループが属する情報サービス業界は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う社会環境の変化により、顧客企業の戦略的IT投資の見直しや先送りなど、慎重な動きがみられる一方で、社会全体の新たな生活様式やビジネス形態としてリモートワークやクラウド環境の導入、IoT、AI、5Gなどのデジタルトランスフォーメーション(DX)に関連するIT投資を積極的に行う企業も増加しているなど二極化が進んでおります。

このような状況の下、当社グループの主力サービスであるソフトウェアテストサービスにおきましては、情報サービス市場の拡大と、ソフトウェア品質やセキュリティ意識の高まりにより着実に成長してきております。一方で、エンジニアの不足が顕在化しており、高度なスキルを有するエンジニアの確保が重要な課題となっておりますが、当社グループでは、適性のある業界未経験者を短期間でエンジニアとして戦力化する教育ノウハウと十分な研修体制を有しており、採用と教育とを一体化した戦略によりこの問題に対処してきております。

その結果、当連結会計年度の売上高は5,262,208千円(前期比7.9%増)と堅調に拡大いたしました。販売促進費の増加はあったものの増収となった影響を受け、営業利益は344,719千円(同7.2%増)、経常利益は347,492千円(同7.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は246,644千円(同10.0%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

[ソフトウェアテストサービス事業]

当事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う案件の先送りや規模縮小の影響が一部ではみられましたが、当事業の主力であるエンタープライズ領域における新規顧客の増加及び既存顧客との取引拡大が継続していることや、コロナ後を見据えたMaaS※分野向けの売上が伸張したことなどにより、外部顧客に対する売上高は4,795,511千円(前期比8.3%増)と堅調に推移し、セグメント利益は362,400千円(同8.7%増)となりました。

※Mobility as a Serviceの頭文字をとったもの。すべての交通手段によるモビリティ(移動)を1つのサービスとしてとらえ、シームレスにつなぐ新たな「移動」の概念。

[Web/モバイルアプリ開発サービス事業]

当事業においては、セキュリティ・脆弱性診断に係る売上が増加したことに加え、保守売上が堅調に推移したことや株式会社オール・エス・オールを新規連結したことなどにより、外部顧客に対する売上高は448,271千円(前期比7.6%増)となりました。利益につきましては、一部の請負案件で採算が悪化したことなどにより、セグメント利益は49,557千円(同21.6%減)となりました。

[オフショアサービス事業]

当事業においては、フィリピンにて新型コロナウイルス感染症拡大によるロックダウンが2020年3月中旬より継続されておりますが、在宅勤務環境の整備などに注力した結果、同年8月以降はほぼ通常通りの営業活動を行っております。外部顧客に対する売上高は18,425千円(前期比39.1%減)となりましたが、当社を窓口とする日本企業との取引が堅調に推移し、案件の採算が改善したことによりセグメント利益は11,235千円(前連結会計年度は9,063千円のセグメント損失)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は2,019,231千円となり、前連結会計年度末に比べ273,125千円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加194,041千円、受取手形及び売掛金の増加36,214千円によるものであります。固定資産は522,254千円となり、前連結会計年度末に比べ178,367千円増加いたしました。これは主に無形固定資産の増加174,714千円によるものであります。

この結果、総資産は2,541,485千円となり、前連結会計年度末に比べ451,493千円増加いたしました。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は958,693千円となり、前連結会計年度末に比べ126,976千円増加いたしました。これは主に短期借入金が増加31,000千円、未払金の増加76,062千円によるものであります。固定負債は84,047千円となり、前連結会計年度末に比べ72,405千円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加76,695千円によるものであります。

この結果、負債合計は1,042,740千円となり、前連結会計年度末に比べ199,382千円増加いたしました。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産は1,498,744千円となり、前連結会計年度末に比べ252,110千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益246,644千円の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は58.8%（前連結会計年度末は59.6%）となりました。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末より193,981千円増加し1,170,437千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は291,147千円（前期比18.3%増）となりました。これは主に売上債権の増減額△19,624千円、仕入債務の増減額△13,055千円、法人税等の支払額119,310千円があった一方で、税金等調整前当期純利益を347,492千円を計上したことや、未払金の増減額56,839千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は93,022千円（同14.4%増）となりました。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入39,342千円があった一方で、無形固定資産の取得による支出118,943千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は△4,956千円（前連結会計年度は538,511千円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出30,607千円があったことによるものであります。

（4）今後の見通し

当社グループが属する情報サービス業界は、中長期的に成長トレンドが継続するものと考えております。一方で、新型コロナウイルス感染症拡大により、顧客企業の戦略的IT投資戦略には少なからず影響を及ぼしており、また変異株の発生拡大など引き続き情勢は不透明な環境にあります。しかしながら、ワクチン接種を始めとする感染拡大防止策により、今後徐々に景気は持ち直しに向かうことが期待されます。

このような状況の中、当社グループにおきましては、「優秀な人材の確保」「新規技術への投資」「グループシナジーの強化」を中心とした従来の成長戦略をさらに強化しつつ、重点領域と定めるエンタープライズ領域の取引拡大や、新技術領域への進出を積極的に進め、社会全体の新たな生活様式や新ビジネスの市場機会を確実に獲得し、前期以前に開拓したお客様との深耕も進めてまいります。

また新型コロナウイルス感染症拡大防止への対策として、引き続き在宅での業務、採用・研修・営業活動のオンライン対応、外販セミナーのオンライン開催等の取組みを行ってまいります。

現時点での2022年3月期の連結業績の見通しにつきましては、売上高6,451,048千円、営業利益464,677千円、経常利益468,915千円、親会社株主に帰属する当期純利益305,079千円を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を考慮し、当面においては日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、今後のI F R S（国際財務報告基準）の採用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	996,456	1,190,497
受取手形及び売掛金	690,857	727,072
電子記録債権	9,255	15,312
仕掛品	6,063	28,118
その他	43,472	58,230
流動資産合計	1,746,105	2,019,231
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	74,355	74,355
減価償却累計額	△10,295	△15,157
建物附属設備(純額)	64,059	59,197
工具、器具及び備品	88,360	97,514
減価償却累計額	△47,735	△66,072
工具、器具及び備品(純額)	40,625	31,442
リース資産	17,959	17,959
減価償却累計額	△3,369	△7,315
リース資産(純額)	14,589	10,643
有形固定資産合計	119,274	101,283
無形固定資産		
のれん	—	68,824
ソフトウェア	16,662	119,849
ソフトウェア仮勘定	11,399	14,104
その他	7	7
無形固定資産合計	28,070	202,785
投資その他の資産		
差入保証金	76,967	79,236
繰延税金資産	119,524	137,622
その他	50	1,327
投資その他の資産合計	196,541	218,185
固定資産合計	343,886	522,254
資産合計	2,089,992	2,541,485

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	125,755	115,723
短期借入金	94,000	125,000
1年内返済予定の長期借入金	19,935	21,948
未払金	263,541	339,604
未払法人税等	69,880	67,508
未払消費税等	119,943	121,793
賞与引当金	104,070	127,945
受注損失引当金	—	3,211
その他	34,590	35,959
流動負債合計	831,716	958,693
固定負債		
長期借入金	—	76,695
退職給付に係る負債	—	27
その他	11,641	7,325
固定負債合計	11,641	84,047
負債合計	843,357	1,042,740
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	752,719	755,896
利益剰余金	407,511	654,156
自己株式	△5,292	△5,395
株主資本合計	1,244,938	1,494,656
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,696	△110
その他の包括利益累計額合計	1,696	△110
新株予約権	—	4,199
純資産合計	1,246,634	1,498,744
負債純資産合計	2,089,992	2,541,485

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	4,875,865	5,262,208
売上原価	3,533,742	3,829,607
売上総利益	1,342,123	1,432,601
販売費及び一般管理費	1,020,476	1,087,881
営業利益	321,646	344,719
営業外収益		
受取利息及び配当金	12	17
助成金収入	5,751	6,260
為替差益	944	2,480
その他	290	1,137
営業外収益合計	7,000	9,897
営業外費用		
支払利息	900	1,433
支払保証料	1,146	426
株式交付費	3,553	—
新株予約権発行費	—	5,264
営業外費用合計	5,600	7,123
経常利益	323,046	347,492
特別損失		
減損損失	5,253	—
特別損失合計	5,253	—
税金等調整前当期純利益	317,793	347,492
法人税、住民税及び事業税	99,229	117,499
法人税等調整額	△5,574	△16,651
法人税等合計	93,655	100,848
当期純利益	224,138	246,644
親会社株主に帰属する当期純利益	224,138	246,644

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	224,138	246,644
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△544	△1,806
その他の包括利益合計	△544	△1,806
包括利益	223,594	244,837
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	223,594	244,837
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	90,000	167,345	183,373	△28,250	412,468
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			224,138		224,138
自己株式の取得					—
自己株式の処分		585,374		22,957	608,331
新株予約権の発行					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	585,374	224,138	22,957	832,470
当期末残高	90,000	752,719	407,511	△5,292	1,244,938

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,240	2,240	—	414,708
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益				224,138
自己株式の取得				—
自己株式の処分				608,331
新株予約権の発行				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△544	△544		△544
当期変動額合計	△544	△544	—	831,926
当期末残高	1,696	1,696	—	1,246,634

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	90,000	752,719	407,511	△5,292	1,244,938
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			246,644		246,644
自己株式の取得				△216	△216
自己株式の処分		3,176		113	3,290
新株予約権の発行					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	3,176	246,644	△102	249,717
当期末残高	90,000	755,896	654,156	△5,395	1,494,656

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,696	1,696	—	1,246,634
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益				246,644
自己株式の取得				△216
自己株式の処分				3,290
新株予約権の発行			4,199	4,199
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,806	△1,806		△1,806
当期変動額合計	△1,806	△1,806	4,199	252,110
当期末残高	△110	△110	4,199	1,498,744

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	317,793	347,492
減価償却費	29,259	42,286
のれん償却額	—	2,373
新株予約権発行費	—	5,264
減損損失	5,253	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	31,821	23,850
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	27
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	3,211
受取利息及び受取配当金	△12	△17
支払利息	900	1,433
株式交付費	3,553	—
売上債権の増減額(△は増加)	△170,958	△19,624
仕掛品の増減額(△は増加)	8,577	△22,038
仕入債務の増減額(△は減少)	52,492	△13,055
未払金の増減額(△は減少)	4,199	56,839
未払消費税等の増減額(△は減少)	60,217	△7,131
その他	△8,610	△9,059
小計	334,487	411,850
利息及び配当金の受取額	12	17
利息の支払額	△916	△1,410
法人税等の支払額	△87,488	△119,310
法人税等の還付額	0	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	246,095	291,147
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△56,842	△8,385
無形固定資産の取得による支出	△22,212	△118,943
敷金及び保証金の差入による支出	△3,653	△4,178
敷金及び保証金の回収による収入	1,425	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	39,342
その他	—	△858
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,283	△93,022
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	7,500	31,000
長期借入金の返済による支出	△71,459	△30,607
自己株式の処分による収入	603,585	—
その他	△1,115	△5,349
財務活動によるキャッシュ・フロー	538,511	△4,956
現金及び現金同等物に係る換算差額	163	811
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	703,486	193,981
現金及び現金同等物の期首残高	272,969	976,456
現金及び現金同等物の期末残高	976,456	1,170,437

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業活動を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「ソフトウェアテストサービス事業」、「Web/モバイルアプリ開発サービス事業」及び「オフショアサービス事業」の3つを報告セグメントとしております。

「ソフトウェアテストサービス事業」は、メーカーやソフトウェアベンダーの顧客企業に対して、テスト計画、テスト設計、テストケース作成、テスト実施、テストサマリレポートまで幅広く的確にフォローし、第三者の中立的立場から効果的なテストサービスを提供しております。「Web/モバイルアプリ開発サービス事業」は、Web/モバイルアプリ開発及びWebアプリ・モバイルアプリのWebセキュリティ診断(脆弱性診断)を提供しており、熟練した技術者の診断ノウハウを可能な限り手順化し、独自のツールを利用して診断し、脆弱性を検出するサービスを提供しております。「オフショアサービス事業」は、当社グループであるVALTES Advanced Technology, Inc.において、グループ会社とのノウハウ共有により、顧客企業の製品の品質向上をサポートするテストサービスとシステム受託開発を提供しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	ソフトウェア テストサービ ス	Web/モバ イルアプリ 開発サービ ス	オフショアサ ービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,428,906	416,717	30,241	4,875,865	—	4,875,865
セグメント間の内部売上高又は 振替高	6,640	47,138	21,751	75,529	△75,529	—
計	4,435,546	463,855	51,992	4,951,394	△75,529	4,875,865
セグメント利益又は損失(△)	333,490	63,192	△9,063	387,620	△65,973	321,646
セグメント資産	1,838,568	249,177	21,668	2,109,414	△19,421	2,089,992
その他の項目						
減価償却費	28,185	479	773	29,438	△179	29,259
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—
減損損失	—	—	5,253	5,253	—	5,253
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	89,007	—	2,177	91,185	△332	90,852

(注) 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額△65,973千円は、セグメント間未実現利益の調整額等△153千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△65,820千円であります。
- (2) セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
- (3) セグメント資産の調整額△19,421千円は、セグメント間債権債務及び未実現利益の消去であります。
- (4) 減価償却費の調整額△179千円は、セグメント間未実現利益の消去であります。
- (5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△332千円は、セグメント間取引消去であります。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	ソフトウェア テストサービ ス	Web/モバ イルアプリ 開発サービ ス	オフショアサ ービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,795,511	448,271	18,425	5,262,208	—	5,262,208
セグメント間の内部売上高又は 振替高	10,242	97,309	42,054	149,606	△149,606	—
計	4,805,754	545,580	60,480	5,411,814	△149,606	5,262,208
セグメント利益	362,400	49,557	11,235	423,192	△78,473	344,719
セグメント資産	2,062,017	484,574	36,399	2,582,991	△41,505	2,541,485
その他の項目						
減価償却費	41,939	1,554	—	43,493	△1,207	42,286
のれんの償却額	—	2,373	—	2,373	—	2,373
減損損失	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	136,921	2,754	—	139,676	△12,421	127,254

(注) 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△78,473千円は、セグメント間未実現利益の調整額等△11,183千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△67,290千円であります。
- (2) セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
- (3) セグメント資産の調整額△41,505千円は、セグメント間債権債務及び未実現利益の消去であります。
- (4) 減価償却費の調整額△1,207千円は、セグメント間未実現利益の消去であります。
- (5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△12,421千円は、セグメント間取引消去であります。
- (6) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、新規連結に伴う増加額及びのれんの計上額は含んでいません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	180.26円	215.95円
1株当たり当期純利益	33.25円	35.65円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	32.98円	35.35円

- (注) 1. 当社は、2019年5月30日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から前連結会計年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	224,138	246,644
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	224,138	246,644
普通株式の期中平均株式数(株)	6,740,538	6,918,582
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	55,256	58,000
(うち新株予約権(株))	(55,256)	(58,000)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。